

国家公務員採用 総合職試験(院卒者試験・大卒程度試験)受験案内

政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する事務をその職務とする係員の採用試験

◇受験資格◇

- 1 院卒者試験:昭和62年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - (1) 大学院修士課程又は専門職大学院の課程を修了した者及び平成30年3月までに大学院修士課程又は専門職大学院の課程を修了する見込みの者
 - (2) 人事院が(1)に掲げる者と同等の資格があると認める者
- 2 大卒程度試験:
 - (1) 昭和62年4月2日～平成8年4月1日生まれの者
 - (2) 平成8年4月2日以降生まれの者で次に掲げるもの
 - ア 大学を卒業した者及び平成30年3月までに大学を卒業する見込みの者
 - イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者

* 次のいずれかに該当する者は受験できません。

- (1) 日本の国籍を有しない者 ※
- (2) 国家公務員法第38条の規定により国家公務員となることができない者
 - 成年被後見人、被保佐人(準禁治産者を含む。)
 - 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者
 - 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者
 - 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者

※ 日本国籍を有する者であっても外国の国籍を有する者は、外務公務員になることができません。

《大学院を修了した方又は修了する見込みの方へ》

総合職試験(院卒者試験)は、大学院修士課程を修了した方等の能力・適性を判定するのにふさわしいものとして設けている試験ですので、院卒者試験の受験資格がある方は院卒者試験を受験することを推奨します。

なお、院卒者試験に合格した後大学院修士課程等を修了できなかった場合には、採用されないことがあります。

◇試験の日程◇

受付期間		申込みは、インターネットにより行ってください。 3月31日(金)9:00～4月10日(月)[受信有効] ※ インターネット環境(原則パソコン)及びプリンターが必要になります。◇受付から第1次試験日までの注意事項◇(5ページ参照)をよく読んでください。
第1次試験日		4月30日(日) 8:30(受付開始) 9:00(試験開始)～17:00(試験終了)
第1次試験合格者発表日		5月12日(金) 9:00
第2次試験日	筆記試験	5月28日(日)
		院卒者試験 行政 …8:20(受付開始) 8:50(試験開始)～13:50(試験終了) その他の区分 …8:20(受付開始) 8:50(試験開始)～13:20(試験終了)
	大卒程度試験 全ての区分 …8:20(受付開始) 8:50(試験開始)～17:20(試験終了)	
	院卒者試験 政策課題討議試験 人物試験	6月9日(金)～6月16日(金) 第2次試験通知で指定する日時(日時の変更は、原則として認められません。)
大卒程度試験 人物試験	5月30日(火)～6月16日(金) 第2次試験通知で指定する日時(日時の変更は、原則として認められません。)	
最終合格者発表日		6月30日(金) 9:00

◇試験の区分◇

【院卒者試験】

行政、人間科学、工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境

【大卒程度試験】

政治・国際、法律、経済、人間科学、工学、数理科学・物理・地球科学、化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、森林・自然環境

総合職試験の院卒者試験(法務区分:司法試験合格者を対象)及び大卒程度試験(教養区分)について

法務区分及び教養区分については、受験案内を平成29年7月中旬以降に国家公務員試験採用情報NAVI(アドレスは9ページ参照)に掲載する予定です。

インターネット申込期間は、院卒者試験(法務区分)は9月12日(火)～9月19日(火)、大卒程度試験(教養区分)は8月4日(金)～8月28日(月)です。

◇採用予定数◇(院卒者試験・大卒程度試験)

試験の区分	採用予定数	試験の区分	採用予定数	試験の区分	採用予定数
行政	約70名	工学	約155名	農業科学・水産	約45名
政治・国際	約20名	数理科学・物理・地球科学	約30名	農業農村工学	約25名
法律	約180名	化学・生物・薬学	約40名	森林・自然環境	約30名
経済	約75名				
人間科学	約30名				

- (注) 1 採用予定数は、院卒者試験・大卒程度試験を合計した人数であり、過年度試験の合格者名簿からの採用者を含みます。
- 2 採用予定数は2月1日現在の見込みです。3月下旬に改めて採用予定数を人事院ホームページ(国家公務員試験採用情報NAVI)に掲載する予定ですので、確認してください。

◇試験地◇

【院卒者試験】

第1次試験地	第2次試験地	
	筆記試験	政策課題討議試験 人物試験
札幌市	札幌市	さいたま市 東京都
盛岡市 仙台市	仙台市	
千葉市 東京都 新潟市 長野市	東京都	
静岡市 名古屋市 金沢市	名古屋市	大阪市
京都市 大阪市 神戸市	大阪市	
松江市 岡山市 広島市	広島市	
高松市 松山市	高松市	
福岡市 北九州市 熊本市 鹿児島市	福岡市	
那覇市	那覇市	

【大卒程度試験】

第1次試験地	第2次試験地
札幌市	札幌市
盛岡市 仙台市	仙台市
千葉市 東京都 新潟市 長野市	さいたま市 東京都
静岡市 名古屋市 金沢市	名古屋市
京都市 大阪市 神戸市	大阪市
松江市 岡山市 広島市	広島市
高松市 松山市	高松市
福岡市 北九州市 熊本市 鹿児島市	福岡市
那覇市	那覇市

- (注) 1 第1次試験地は、受験に便利な1都市を選んでください。第2次試験地は、第1次試験地欄に対応する試験地になります(第2次試験地が2か所ある場合は、いずれかを指定します。)
- 2 試験場は、原則として上記都市内に設けますが、申込者数等の状況に応じて、上記都市周辺に設ける場合もあります。
- 3 受験申込み完了後における「試験地」の変更は認められません。ただし、災害又は転居によりやむを得ないと認められる場合に限り、試験の実施に支障がない範囲(転居の場合は4月11日(火)17時まで)に申し出た場合に限る。)で変更が認められます。

◇試験種目・試験の方法◇

【院卒者試験】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点 比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	30題 2時間20分	2/15	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野 24題 文章理解⑧、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩ 知識分野 6題 自然・人文・社会⑥(時事を含む。)
	専門試験 (多肢選択式)	40題 3時間30分	3/15	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験 (出題分野及び出題数は別表のとおり)
第2次試験	専門試験 (記述式)	【行政区分】 3題 4時間 【その他の区分】 2題 3時間30分	5/15	
	政策課題討議 試験	概ね1時間30分	2/15	課題に対するグループ討議によるプレゼンテーション能力やコミュニケーション力などについての試験(課題に関する資料の中に英文によるものを含む。) 6人1組のグループを基本として実施 レジュメ作成(25分)→個別発表(1人当たり3分)→グループ討議(30分) →討議を踏まえて考えたことを個別発表(1人当たり2分)
	人物試験		3/15	人柄、対人的能力などについての個別面接
英語試験				外部英語試験(TOEFL(iBT)、TOEIC Listening & Reading Test(平成28年8月5日に名称が変更される前のTOEICテストを含み、公開テストに限る。)、IELTS、実用英語技能検定)を活用し、スコア等に応じて総得点に15点又は25点を加算 ※別紙参照

【大卒程度試験】

試験	試験種目	解答題数 解答時間	配点 比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 (多肢選択式)	40題 3時間	2/15	公務員として必要な基礎的な能力(知能及び知識)についての筆記試験 知能分野 27題 文章理解⑪、判断・数的推理(資料解釈を含む。)⑩ 知識分野 13題 自然・人文・社会⑬(時事を含む。)
	専門試験 (多肢選択式)	40題 3時間30分	3/15	各試験の区分に応じて必要な専門的知識などについての筆記試験 (出題分野及び出題数は別表のとおり)
第2次試験	専門試験 (記述式)	【政治・国際、 法律、 経済区分】 3題 4時間 【その他の区分】 2題 3時間30分	5/15	
	政策論文試験	1題 2時間	2/15	政策の企画立案に必要な能力その他総合的な判断力及び思考力についての筆記試験(資料の中に英文によるものを含む。)
	人物試験		3/15	人柄、対人的能力などについての個別面接
英語試験				外部英語試験(TOEFL(iBT)、TOEIC Listening & Reading Test(平成28年8月5日に名称が変更される前のTOEICテストを含み、公開テストに限る。)、IELTS、実用英語技能検定)を活用し、スコア等に応じて総得点に15点又は25点を加算 ※別紙参照

- (注) 1 ○内の数字は出題予定数です。
 2 第1次試験は、専門試験、基礎能力試験の順に実施します。
 3 第2次試験(5月28日(日)の筆記試験)の際、人物試験の参考とするため、性格検査を行います。
 4 工学区分の専門試験(記述式)は選択科目によって解答題数が1題又は2題となります。
 5 第2次試験(政策課題討議試験(院卒者試験のみ)及び人物試験)については、6月1日(木)～4日(日)、10日(土)、11日(日)は実施しない予定です。
 6 合格者の決定方法の詳細については、国家公務員試験採用情報NAVIを御覧ください。

◇受験上の配慮について◇

○ 視覚障害のある方については、その障害の程度により、以下の方法による受験ができる場合があります。

ア 大卒程度試験「法律」区分については点字による試験(パソコンによる音声読み上げを補助として併用できます。)を行います(点字受験者用の受験案内を用意しています。)

第1次試験地は、札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、高松市、福岡市、那覇市です。

イ 全ての試験の区分で拡大文字による試験、解答時間の延長等の措置が講じられる場合があります。

上記ア又はイの措置による受験を希望される方は、申込画面の該当項目に入力するとともに、4月10日(月)17時まで
に必ず希望する第1次試験地に対応する問合せ先(9ページ参照)に申し出て、その指示に従い障害の程度を証明する書類を提出してください。

4月10日(月)17時以降に、ア又はイの措置を希望されても認められませんので御注意ください。

○ 身体の障害等があるため、着席位置の指定、車椅子の使用等、受験の際に何らかの措置を希望される方及び補聴器を使用される方は、あらかじめ申し出てください(事前の届出及び許可が必要です。)

申込時にあらかじめその旨を第1次試験地に対応する問合せ先(9ページ参照)に必ず申し出るとともに、申込画面の該当項目に希望する措置の内容など(補聴器使用の場合は、補聴器使用の旨及び製造メーカー、型番など)を入力してください。

◇受付から第1次試験日までの注意事項◇

1 受付期間(インターネット申込み)

3月31日(金)9:00～4月10日(月)[受信有効]

4月10日(月)までに申込データを受信完了したものに限り受け付けます。事前登録だけでは申込完了ではありません。余裕を持って申込手続を完了してください。

お使いのパソコンで申込手続が可能かをチェックできます。インターネット申込専用アドレスへアクセスして、早めに確認してください。

2 申込方法

インターネット申込専用アドレス[<http://www.jinji-shiken.go.jp/juken.html>]

インターネット申込専用アドレスへアクセスして、説明に従って入力してください。

手続は、「事前登録」と「申込受付」の2段階になっています(平成29年度に行われる他の国家公務員採用試験において、既に事前登録を行っており、ユーザーIDを持っている場合は事前登録は不要です。)**「事前登録」だけでは申込完了にはなりません。**「事前登録完了通知メール」及び「申込受付完了通知メール」が送信されますので必ず保存してください。

また、「事前登録」の際に登録したメールアドレスは、受験票発行通知メールが届き受験票を作成するまで(院卒者試験については第2次試験通知が到着するまで)変更しないでください。ユーザーID及びパスワードは、採用志望カードのダウンロード及び個人の試験結果(成績)の確認の際にも必要になりますので、忘れないように必ず控えておいてください。

ユーザーID	
パスワード	

パーソナルレコード(インターネット申込手続に入る画面の下方)から、左記ユーザーID及びパスワードでログインすることで申込内容の確認ができます。

予期せぬ機器停止や通信障害などが起きた場合のトラブルについては、一切責任を負いません。

3 申込みに関する注意事項

(1) 申し込むことができる「試験の区分」・「第1次試験地」は一つに限ります(院卒者試験及び大卒程度試験の第1次試験は同日に行いますので、両方を受験することはできません。院卒者試験と大卒程度試験の両方を申し込まないようにしてください。)。また、申込完了後における変更は認められません。

ただし、「試験地」については、災害又は転居によりやむを得ないと認められる場合に限り、試験の実施に支障がない範囲(転居の場合、4月11日(火)17時まで)に申し出た場合に限る。)で変更が認められます。

(2) 申込みは一回に限ります。異なるユーザーIDで同じ試験について複数の申込みをした場合、最後の申込み以外は無効とします。

(3) 「試験の区分」・「試験地」以外の申込内容のうち、「氏名(フリガナ含む)」「生年月日」「性別」「電話番号」「住所・合格通知書希望送付先」の訂正は、第1次試験の際に受け付けます。申込内容等の訂正を目的として再度申し込むことは絶対にしていただきません。

(4) 入力の際の誤りや漏れがある場合には、補正を行うため適宜連絡をします。申込みをした日から4月13日(木)の間(土・日曜日の休日は除く)は必ず連絡が取れるようにしてください。補正できなかった場合には、受験申込みの受理ができないことがあります。また、第1次試験地に対応する問合せ先(9ページ参照)と連絡が取れるように電話番号を携帯電話等に登録しておいてください。

4 受験票発行通知メールの送信

4月18日(火)13:00～17:00に送信する予定です。受信したら速やかに受験票をダウンロードの上、A4サイズのコピー用紙(普通紙)で印刷(カラー、白黒どちらでも可)してください。

5 受験票のダウンロード及び問合せ期限

4月27日(木)17時以降はダウンロードできません。

4月27日(木)17時までにユーザーID及びパスワードを入力して受験票をダウンロードし、印刷した後、説明に従って受験票を作成してください。受験票がダウンロードできない場合は、国家公務員採用試験インターネット申込画面のQ&Aを参照してください。ダウンロード期間中にダウンロードできなかった場合は、パーソナルレコード(インターネット申込手続に入る画面の下方(画面スクロールが必要な場合があります。))にログインして、必要な情報を確認してください。

また、受験票の内容に関する照会は、第1次試験地に対応する問合せ先(9ページ参照)に4月28日(金)17時までに行ってください。

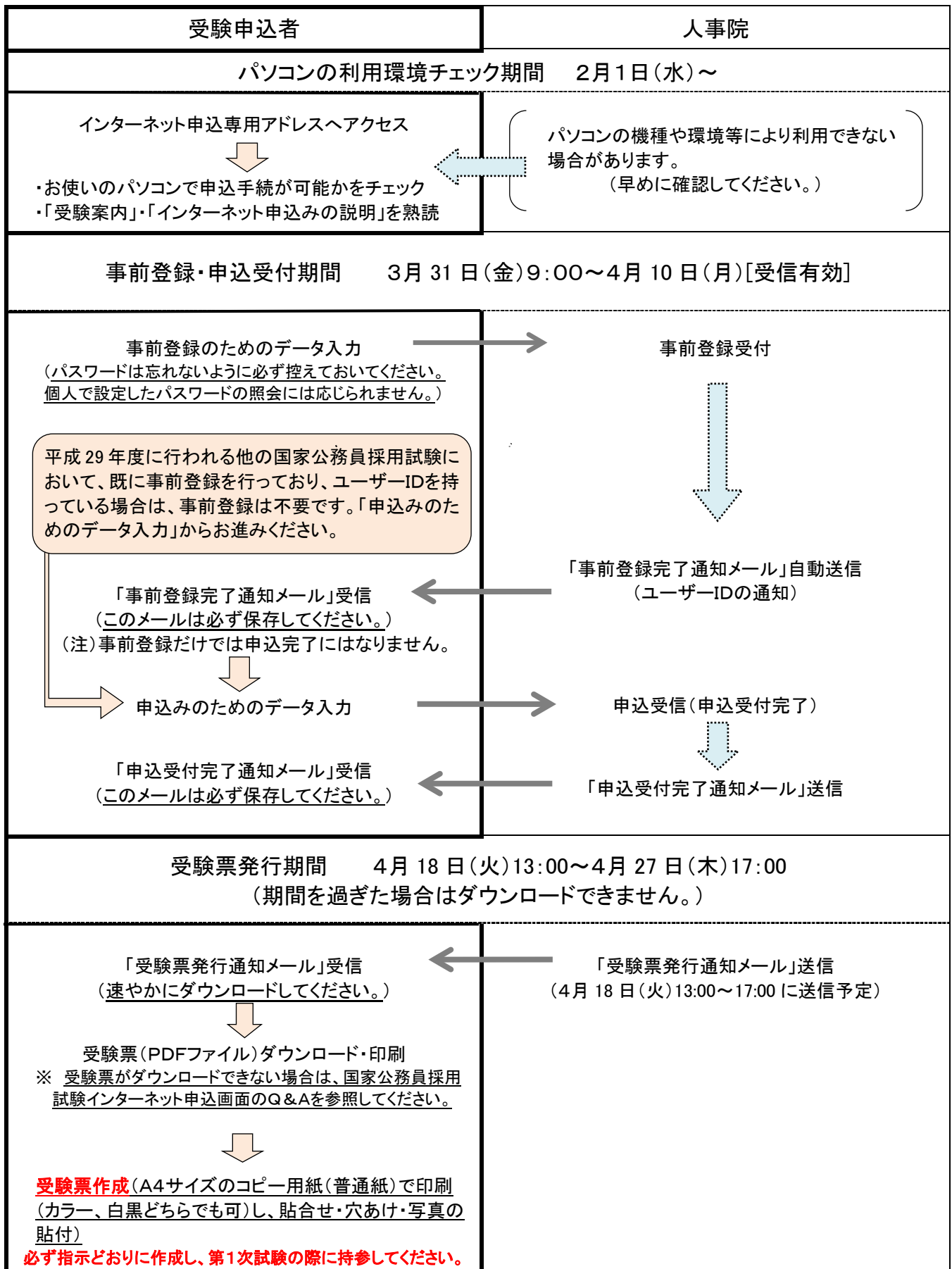
6 第1次試験に関する注意事項

(1) 受験票には、本人であることが明瞭に確認できる**写真**(3か月以内に撮影した、脱帽・上半身・正面向きの縦4cm横3cmのもの)を貼り、**第1次試験当日に必ず持参**してください。

第1次試験の試験開始時刻(9時00分)に遅れた場合は、受験は認められません。受験票記載の試験場において必ず試験開始時刻までに受付(8時30分開始)を済ませ、指定された席に着席してください。また、試験場によっては、試験場入口と受付場所が相当離れているところもありますので、時間に余裕を持って行動してください。

(2) 試験実施中にスマートフォンなどの携帯電話、タブレット端末、スマートウォッチ、電子辞書等の電子機器類を操作した場合、操作しなくても身に付けていた場合、机の上や机の中に置いていた場合は、不正行為となるので注意してください。

◇インターネット申込みの流れ◇



[個人情報の管理について]

学歴等の事項については、試験結果の分析、今後の効率的な募集活動に資する等のために用いるものであり、試験の結果に影響を与えるものではありません。なお、入力された個人情報は、行政機関の保有する個人情報の保護に関する法律に従い適正に管理します。また、最終合格すると、氏名、連絡先など採用を行うに当たって必要と認められる情報については、個人情報の保護に十分留意した上で、各府省等国の機関及び行政執行法人に提供します。

◇多肢選択式試験の正答番号の公表について◇

第1次試験の「基礎能力試験(多肢選択式)」及び「専門試験(多肢選択式)」の正答番号については、第1次試験日の翌日の5月1日(月)から国家公務員試験採用情報NAVIに掲載します。

なお、詳細については、第1次試験日に配布する「受験心得」を御覧ください。

◇合格者の発表◇

第1次試験合格者発表 ……5月12日(金)9時

最終合格者発表 ……6月30日(金)9時

発表場所 ……人事院事務総局(〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3 電話(03)3581-5311)
人事院各地方事務局(所)(9ページ参照)

※ インターネットにおいても、合格者の受験番号を掲載します。アドレス等の詳細については、第1次試験日に配布する「受験心得」を御覧ください。

合格者には合格通知書を郵送します。「第1次試験合格通知書」には第2次試験(筆記試験)の日時・試験場を指定していますので、第1次試験合格通知書が5月16日(火)までに到着しない場合は、5月17日(水)に第1次試験地に対応する人事院地方事務局(所)にお問い合わせください。

人事院では、有料で試験の合否の連絡を請け負うことは一切行っていません。

◇個人の試験結果(成績)について◇

個人の試験結果(成績)については、国家公務員試験採用情報NAVIで確認できます。受験申込のパーソナルレコード画面(インターネット申込手続き時の画面)からインターネット申込時に使用したユーザーID及びパスワードを入力してください。掲載期間は、第1次試験の際に配布する「受験心得」で御確認ください。

◇採用・給与・勤務時間等◇

1 採用方法及び採用時期

最終合格者は、試験の区分ごとに作成する採用候補者名簿（3年間有効）に記載されます。

各府省等では採用候補者名簿に記載された者の中から、面接などを行って採用者を決定します（最終合格者数は、辞退者数を考慮して決定されます。）。なお、採用はおおむね平成30年4月になります。

官庁訪問について

官庁訪問は、志望する府省等に関する知識を深めるとともに、採用に向けての自己PRの重要な機会となります。

平成29年度の官庁訪問の開始時期、方法等については、詳細が決まり次第、国家公務員試験採用情報NAVI [http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo/sougou/saiyo_sougou02.htm] 等によりお知らせします。（平成29年2月下旬予定）

なお、官庁訪問に関する相談については、人事院人材局企画課（電話（03）3581-5311(内線2312)）に御照会ください。

2 給与

採用当初の額は、次のとおりです。

【院卒者試験】

行政職員 (行政(一)2-11)の場合 251,280 円	研究職員 (研究2-15)の場合 269,160 円	警察官等 (公安(一)3-15)の場合 281,040 円	少年鑑別所の技官 (公安(二)2-11)の場合 286,680 円
-------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------------	---

【大卒程度試験】

行政職員 (行政(一)2-1)の場合 219,240 円	研究職員 (研究2-5)の場合 241,560 円	警察官等 (公安(一)3-5)の場合 251,880 円	少年鑑別所の技官 (公安(二)2-1)の場合 251,880 円
------------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	--

(注) 1 この額は、「一般職の職員の給与に関する法律」の規定によるもので、東京都特別区内に勤務する場合における平成29年4月1日の給与の例です。

地域手当の支給されない地域へ行政職員で採用された場合には、

院卒者試験209,400円、大卒程度試験182,700円です。

2 上記のほか、次のような諸手当が支給されます。

扶養手当…扶養親族のある者に、配偶者月額10,000円等

住居手当…借家(賃貸のアパート等)に住んでいる者等に、月額最高27,000円

通勤手当…交通機関を利用している者等に、定期券相当額(1箇月当たり最高55,000円)等

本府省業務調整手当…本府省の業務に従事する者に、行(一)2級の場合、月額7,700円

期末手当・勤勉手当(いわゆるボーナス)…1年間に俸給等の約4.3月分

3 行政執行法人に採用された者には、行政執行法人が定めた給与が支給されます。

3 勤務時間・休暇

(1) 勤務時間は、原則として、1日7時間45分で、土・日曜日及び祝日等の休日は休みです。

休暇には、年次休暇(年20日(4月1日採用の場合、採用の年は15日))。残日数は20日を限度として翌年に繰越し)の

ほか、病気休暇、特別休暇(夏季・結婚・出産・忌引・ボランティア等)及び介護休暇等があります。

また、ワーク・ライフ・バランス(仕事と家庭生活の両立)支援制度として、育児休業制度等があります。

(2) 行政執行法人に採用された者の勤務時間・休暇等は、行政執行法人ごとに定められています。

◇平成28年度国家公務員採用試験の実施結果◇

国家公務員試験採用情報NAVIを参照してください。

◇正規の試験に準ずる試験◇

各府省によって行われている国家公務員採用試験があり、平成29年度については次のものが予定されています。詳しくは各実施府省にお問い合わせください。

試験の程度	区分	試験の名称	問合せ先	電話(代表)	受付期間
総合職試験 (院卒者試験)相当	獣医学	厚生労働省獣医系技術職員採用試験	厚生労働省大臣官房人事課	(03)5253-1111	4月中旬～5月中旬
		農林水産省獣医系技術職員採用試験	農林水産省大臣官房秘書課	(03)3502-8111	4月中旬～5月中旬
総合職試験 (大卒程度試験)相当	意匠学	特許庁意匠審査職員採用試験	特許庁総務部秘書課	(03)3581-1101	4月3日(月) ～4月19日(水)

◇問合せ先◇

問合せの内容により、下記の問合せ先に御連絡ください。（9:00～17:00(土・日曜日及び祝日等の休日は除く。))

なお、インターネット申込用のホームページにはQ&Aがありますので、そちらも参照してください。

国家公務員試験採用情報NAVI [<http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm>]

- 1 インターネット申込み、英語試験に関する問合せ
人事院人材局試験課 電話 (03) 3581-5311 (内線2935)

- 2 その他試験に関する問合せ先
 - (1) 転居による試験地の変更について
 - (2) 視覚障害や身体の障害等があるため受験の際に何らかの措置を希望する場合の申出について
 - (3) 受験票の内容について
 - (4) 合格発表について
 - (5) 合格通知書の未着について

人事院各地方事務局(所)のホームページへは、人事院ホームページのリンク集からアクセスしてください。
[<http://www.jinji.go.jp/link/index.htm>]

第1次試験地	問合せ先	所在地	連絡先
札幌市	人事院北海道事務局	〒060-0042 札幌市中央区大通西12丁目	電話(011)241-1248 FAX(011)281-5759
盛岡市 仙台市	人事院東北事務局	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-2-23	電話(022)221-2022 FAX(022)267-5315
千葉市 東京都 新潟市 長野市	人事院関東事務局	〒330-9712 さいたま市中央区新都心1-1	電話(048)740-2006～8 FAX(048)601-1021
静岡市 名古屋市 金沢市	人事院中部事務局	〒460-0001 名古屋市中区三の丸2-5-1	電話(052)961-6838 FAX(052)961-0069
京都市 大阪市 神戸市	人事院近畿事務局	〒553-8513 大阪市福島区福島1-1-60	電話(06)4796-2191 FAX(06)4796-2188
松江市 岡山市 広島市	人事院中国事務局	〒730-0012 広島市中区上八丁堀6-30	電話(082)228-1183 FAX(082)211-0548
高松市 松山市	人事院四国事務局	〒760-0068 高松市松島町1-17-33	電話(087)831-4765 FAX(087)831-5315
福岡市 北九州市 熊本市 鹿児島市	人事院九州事務局	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-11-1	電話(092)431-7733 FAX(092)475-0565
那覇市	人事院沖縄事務所	〒900-0022 那覇市樋川1-15-15	電話(098)834-8400 FAX(098)854-0209

(注) 第1次試験地に対応する人事院地方事務局(所)から連絡する場合がありますので、連絡が取れるように電話番号を携帯電話等に登録してください。

MEMO

別表 専門試験出題分野及び出題数一覧表

- 1 ○内の数字は、出題予定数であり、「経済学・財政学⑥」とは、経済学及び財政学から6題出題する意味です。
- 2 []内は分野名又は科目名の説明であり、その中で例示してある内容の問題が必ず出題されるとは限りません。
- 3 「試験の区分」によっては、同時に選択できない科目がありますので、注意してください。
- 4 「専門試験（多肢選択式）」と「専門試験（記述式）」の選択問題は、必ずしも一致している必要はありません。

【院卒者試験】

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
行政	<p>次の選択Ⅰ、Ⅱ、Ⅲからいずれかを選択し解答</p> <p>[選択Ⅰ 政治・国際系] 55題出題 40題解答</p> <p>必須問題 政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤の計25題</p> <p>選択問題 行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③、経済学③、財政学③、経済政策③の30題から任意の計15題解答</p> <p>[選択Ⅱ 法律系] 49題出題 40題解答</p> <p>必須問題 憲法⑦、行政法⑫、民法⑫の計31題</p> <p>選択問題 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の18題から任意の計9題解答</p> <p>[選択Ⅲ 経済系] 46題出題 40題解答</p> <p>必須問題 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計31題</p> <p>選択問題 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③の15題から任意の計9題解答</p>	<p>選択問題 3題</p> <p>次の14科目から3科目選択 政治学、行政学、国際関係②、公共政策②、憲法、行政法、民法、商法、刑法、民事訴訟法、国際法、経済理論、財政学、経済政策</p> <p>(注)国際関係又は公共政策を含む選択をする場合にあっては、2科目又は3科目</p>
人間科学	<p>105題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 人間科学に関する基礎 [人間科学における調査・分析に関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。]</p> <p>II部 15題 次の選択A、B（各15題）から一つを選択 選択A 心理学 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎（心理学史、生理、知覚、学習等）⑩ 心理学における研究方法に関する基礎④ 選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑫ 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎③</p> <p>III部 20題 次の14科目（各5題）から4科目を選択し、計20題解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、地域福祉論、社会学（理論）、社会学（各論）、社会心理学、現代社会論</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の6題から2題選択 心理学に関連する領域②[人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎、行政的な課題・社会的事象について、心理学的な視点から論述するもの]、 教育学、福祉及び社会学に関連する領域①、 教育学に関連する領域①、 福祉に関連する領域①、 社会学に関連する領域①</p> <p>(注)同じ領域から2題選択可。</p>
工学	<p>165題出題 40題解答</p> <p>必須問題 工学に関する基礎 [数学及び物理の基礎的な知識に基づく工学的手法の応用能力を問うもの等] の計20題</p> <p>選択問題 次の29科目（各5題）から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答 1. 技術論 [技術の歴史、技術と社会との関連等]、 2. 基礎化学、3. 工学基礎実験、4. 情報基礎、 5. 電気工学、6. 電磁気学、7. 材料力学 [機械系]、 8. 流体力学 [機械系]、 9. 構造力学 (土木) ・土木材料・土木施工、 10. 土質力学・水理学、11. 環境工学 (土木) ・衛生工学、 12. 構造力学 (建築)、13. 建築構造・建築材料・建築施工、 14. 計測工学・制御工学、15. 情報工学 (ハードウェア)、 16. 情報工学 (ソフトウェア)、17. 電子工学、18. 通信工学、 19. 機械力学、20. 熱力学・熱機関 [機械系]、21. 土木計画、 22. 建築計画・建築法規・建築設備、23. 建築史・都市計画、 24. 材料工学 (材料科学) [材料物理、材料化学]、 25. 材料工学 (金属材料・無機材料)、 26. 原子力工学 (原子核・放射線)、 27. 原子力工学 (原子炉・核燃料サイクル)、 28. 船舶海洋工学 (流体) [船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動]、 29. 船舶海洋工学 (構造) [船体強度・振動、船舶設計・艤装]</p> <p>(注) 8 (流体力学 [機械系]) と10 (土質力学・水理学) の同時選択不可。7 (材料力学 [機械系]) と9 (構造力学 (土木) ・土木材料・土木施工) と12 (構造力学 (建築)) の3科目のうち、2科目又は3科目の同時選択不可。</p>	<p>選択問題 1題又は2題 次の29科目から出題 解答題数 ア. 1 (建築設計) 又は2 (都市設計) を選択する場合は、その1科目 (1題) のみを選択解答 イ. ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答 (注) 2題以上出題される科目にあっては、そのうち1題のみ選択可。</p> <p>1. 建築設計①、2. 都市設計①、3. 計測工学①、4. 制御工学②、 5. 情報工学 (ハードウェア) ①～②、6. 情報工学 (ソフトウェア) ①～②、 7. 電磁気学・電気回路①、8. 電気機器①、9. 電力工学①、 10. 電子工学①、11. 通信工学①、12. 信頼性工学①、 13. 材料力学 [機械系] ①、14. 機械力学①、15. 流体力学 [機械系] ①、 16. 熱力学・熱機関 [機械系] ①、17. 航空工学①、18. 構造力学 (土木) ①、 19. 土質力学①、20. 水理学①、21. 土木計画③、 22. 環境工学 (土木) ・衛生工学②、 23. 材料工学 (材料科学) [材料物理、材料化学] ①～②、 24. 材料工学 (金属材料) ①～②、25. 材料工学 (無機材料) ①、 26. 原子力工学 (原子核・放射線) ①、 27. 原子力工学 (原子炉・核燃料サイクル) ①～②、 28. 船舶海洋工学 (流体) [船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動] ①～②、 29. 船舶海洋工学 (構造) [船体強度・振動、船舶設計・艤装] ①～②</p> <p>(注1) 13 (材料力学 [機械系]) と18 (構造力学 (土木)) の同時選択不可。 15 (流体力学 [機械系]) と20 (水理学) の同時選択不可。21 (土木計画) と22 (環境工学 (土木) ・衛生工学) の同時選択不可。 (注2) 1 (建築設計) 及び2 (都市設計) は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン (図面及び論述) の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。 他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。</p>

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
数理学・物理・地球科学	<p>115題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 基礎数学・情報数学</p> <p>II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 数理学系 線形代数、解析、確率・統計 選択B 物理・地球科学系 基礎物理、地球科学</p> <p>III部 25題 次の17科目90題のうち任意の計25題解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）、物理数学、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）、地球物理学、地質学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から15題出題、任意の2題選択 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、情報科学①、数学モデル①、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）①、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）③、地球物理学②、地質学②</p> <p>（注）同じ科目から2題選択可。</p>
化学・生物・薬学	<p>106題出題 40題解答</p> <p>必須問題 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学の計10題</p> <p>選択問題 次の16科目（各6題）から5科目又は6科目を選択し、その30～36題のうちから任意の計30題解答 1. 数学・物理、2. 基礎物理化学・基礎無機化学、3. 物理化学・無機化学、4. 有機化学、5. 工業化学・化学工学、6. 分析化学・薬化学、7. 薬理学、8. 薬剤学・衛生化学、9. 食品学、10. 土壌肥科学・環境科学・農薬、11. 生化学・分子生物学、12. 応用微生物学・生物工学、13. 発生生物学・生理学、14. 細胞生物学（形態学を含む。）・放射線生物学、15. 遺伝学・進化学、16. 生態学（動物行動学を含む。）・系統分類学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から19題出題、任意の2題選択 物理化学②、無機化学①、有機化学①、分析化学①、化学工学①、薬化学①、薬理学①、薬剤学①、食品学①、土壌肥科学・農薬①、生化学①、分子生物学・生物工学①、応用微生物学①、発生生物学①、生理学①、細胞生物学（形態学を含む。）①、遺伝学①、生態学（動物行動学を含む。）①</p> <p>（注）同じ科目から2題選択可。</p>
農業科学・水産	<p>140題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 生物資源に関する基礎 [生物資源科学、食料事情、統計学]</p> <p>II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 農業科学系 農業科学に関する基礎 [農業・畜産業、生物学に関する基礎] 選択B 水産系 水産学に関する基礎</p> <p>III部 25題 次の23科目（各5題）から5科目を選択し、計25題解答 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、5. 昆虫学、6. 土壌肥科学・植物生理学、7. 経済学、8. 農業資源経済学（基礎）、9. 農業資源経済学（応用）、10. 農業経営学、11. 食料政策・農業政策・農業関係法律、12. 家畜育種学、13. 家畜繁殖学、14. 家畜生理学、15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、16. 畜産一般 [畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通]、17. 水産経済学・水産経営学、18. 漁政、19. 漁業学・水産資源学、20. 水産海洋学・水産環境保全、21. 水産生物学・増養殖学、22. 水産化学・水産利用学、23. 水産一般 [水産物生産・水産物加工・水産物流通]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の20科目（各1題）から2科目選択 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、5. 昆虫学、6. 農業資源経済学、7. 農業経営学、8. 食料政策・農業政策、9. 家畜育種学、10. 家畜繁殖学、11. 家畜生理学、12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、13. 漁業学、14. 水産資源学、15. 水産海洋学、16. 水産環境保全、17. 水産生物学、18. 増養殖学、19. 水産化学、20. 水産利用学</p>
農業農村工学	<p>76題出題 40題解答</p> <p>必須問題 農業農村工学に関する基礎 [農業・農村一般③、農業生産・環境一般②、数学・情報処理③、農業農村工学一般⑥、応用力学④、水理学④] の計22題</p> <p>選択問題 次の9科目（各6題）から3科目を選択し、計18題解答 1. 設計・施工、2. 農業水文学、3. 土地改良、4. 農村計画学・公共経済学、5. 農村環境整備、6. 機械基礎工学 [機械力学及び機械要素・設計]、7. 生物生産機械工学、8. 食料機械工学・生物生産施設工学、9. 環境調節工学 [農業気象学及び生物工学を含む。]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の9科目（各1題）から2科目選択 1. 設計・施工、2. 農業水文学、3. 土地改良、4. 農村計画学、5. 農村環境整備、6. 公共経済学、7. 生物生産機械工学、8. 食料機械工学・生物生産施設工学、9. 環境調節工学 [農業気象学及び生物工学を含む。]</p>

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
森林・ 自然環境	<p>121題出題 40題解答</p> <p>必須問題 森林・自然環境に関する基礎 [森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④]の計13題</p> <p>選択問題 次の12科目（各9題）から3科目を選択し、計27題解答 1. 森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。）、 2. 森林資源科学（森林立地及び森林保護を含む。）、 3. 森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学）、 4. 砂防学基礎、5. 砂防工学、6. 流域管理、7. 造園学原論・造園材料、 8. 造園計画（自然公園） [自然環境保全を含む。]、 9. 造園計画（都市公園） [都市計画を含む。]、 10. 木材特性・木質構造 [木材需給を含む。]、11. 木材加工・材質改良、 12. 木材成分利用（特用林産を含む。)</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の4科目（各3題）から1科目を選択し、任意の2題解答 1. 森林科学に関する基礎、 2. 国土保全に関する基礎、 3. 自然環境・公園緑地に関する基礎、 4. 木材等林産物に関する基礎</p>

【大卒程度試験】

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
政治・国際	<p>55題出題 40題解答</p> <p>必須問題 政治学⑩、国際関係⑩、憲法⑤の計25題</p> <p>選択問題 行政学⑤、国際事情③、国際法⑤、行政法⑤、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③、経済学③、財政学③、経済政策③の30題から任意の計15題解答</p>	<p>選択問題 3題</p> <p>次の6科目から3科目選択 政治学、行政学、憲法、国際関係②、国際法、公共政策②</p> <p>(注)国際関係又は公共政策を含む選択をする場合にあっては、2科目又は3科目</p>
法 律	<p>49題出題 40題解答</p> <p>必須問題 憲法⑦、行政法⑫、民法⑬の計31題</p> <p>選択問題 商法③、刑法③、労働法③、国際法③、経済学・財政学⑥の18題から任意の計9題解答</p>	<p>選択問題 3題</p> <p>次の5科目から3科目選択 憲法、行政法、民法、国際法、公共政策②</p> <p>(注)公共政策からは1題のみ選択可。</p>
経 済	<p>46題出題 40題解答</p> <p>必須問題 経済理論⑩、財政学・経済政策⑤、経済事情⑤、統計学・計量経済学⑤の計31題</p> <p>選択問題 経済史・経済事情③、国際経済学③、経営学③、憲法③、民法（担保物権、親族及び相続を除く。）③の15題から任意の計9題解答</p>	<p>必須問題 1題 経済理論</p> <p>選択問題 2題 次の3科目から2科目選択 財政学、経済政策、公共政策②</p> <p>(注)公共政策からは1題のみ選択可。</p>
人間科学	<p>105題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 人間科学に関する基礎 [人間科学における調査・分析に関する基礎、人間科学における行政的問題を含む。]</p> <p>II部 15題 次の選択A、B（各15題）から一つを選択 選択A 心理系 人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎（心理学史、生理、知覚、学習等）⑪ 心理学における研究方法に関する基礎④ 選択B 教育・福祉・社会系 教育学、福祉及び社会学に関する基礎⑫ 教育学、福祉及び社会学における調査・分析に関する基礎⑬</p> <p>III部 20題 次の14科目（各5題）から4科目を選択し、計20題解答 認知心理学、臨床心理学、教育環境学、教育心理学、教育経営学、教育方法学、社会福祉総論、社会福祉各論、福祉計画論、地域福祉論、社会学(理論)、社会学(各論)、社会心理学、現代社会学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の6題から2題選択 心理学に関連する領域②[人間の資質及び行動並びに人間関係の理解に関する心理学的基礎、行政的な課題・社会的事象について、心理学的な視点から論述するもの]、 教育学、福祉及び社会学に関連する領域①、 教育学に関連する領域①、 福祉に関連する領域①、 社会学に関連する領域①</p> <p>(注)同じ領域から2題選択可。</p>

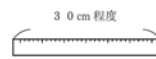
試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
工 学	<p>165題出題 40題解答</p> <p>必須問題 工学に関する基礎〔数学及び物理の基礎的な知識に基づく工的手法の応用能力を問うもの等〕の計20題</p> <p>選択問題 次の29科目（各5題）から4科目、5科目又は6科目を選択し、その20～30題のうちから任意の計20題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 技術論〔技術の歴史、技術と社会との関連等〕、 2. 基礎化学、 3. 工学基礎実験、 4. 情報基礎、 5. 電気工学、 6. 電磁気学、 7. 材料力学〔機械系〕、 8. 流体力学〔機械系〕、 9. 構造力学（土木）・土木材料・土木施工、 10. 土質力学・水理学、 11. 環境工学（土木）・衛生工学、 12. 構造力学（建築）、 13. 建築構造・建築材料・建築施工、 14. 計測工学・制御工学、 15. 情報工学（ハードウェア）、 16. 情報工学（ソフトウェア）、 17. 電子工学、 18. 通信工学、 19. 機械力学、 20. 熱力学・熱機関〔機械系〕、 21. 土木計画、 22. 建築計画・建築法規・建築設備、 23. 建築史・都市計画、 24. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕、 25. 材料工学（金属材料・無機材料）、 26. 原子力工学（原子核・放射線）、 27. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）、 28. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕、 29. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艤装〕 <p>（注）8（流体力学〔機械系〕）と10（土質力学・水理学）の同時選択不可。 7（材料力学〔機械系〕）と9（構造力学（土木）・土木材料・土木施工）と12（構造力学（建築））の3科目のうち、2科目又は3科目の同時選択不可。</p>	<p>選択問題 1題又は2題 次の29科目から出題 解答題数 ア. 1（建築設計）又は2（都市設計）を選択する場合は、その1科目（1題）のみを選択解答 イ. ア以外の場合は、2科目から各1題、計2題を選択解答 （注）2題以上出題される科目にあつては、そのうち1題のみ選択可。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建築設計①、 2. 都市設計①、 3. 計測工学①、 4. 制御工学②、 5. 情報工学（ハードウェア）①～②、 6. 情報工学（ソフトウェア）①～②、 7. 電磁気学・電気回路①、 8. 電気機器①、 9. 電力工学①、 10. 電子工学①、 11. 通信工学①、 12. 信頼性工学①、 13. 材料力学〔機械系〕①、 14. 機械力学①、 15. 流体力学〔機械系〕①、 16. 熱力学・熱機関〔機械系〕①、 17. 航空工学①、 18. 構造力学（土木）①、 19. 土質力学①、 20. 水理学①、 21. 土木計画③、 22. 環境工学（土木）・衛生工学②、 23. 材料工学（材料科学）〔材料物理、材料化学〕①～②、 24. 材料工学（金属材料）①～②、 25. 材料工学（無機材料）①、 26. 原子力工学（原子核・放射線）①、 27. 原子力工学（原子炉・核燃料サイクル）①～②、 28. 船舶海洋工学（流体）〔船体復原性、船体抵抗・推進、船体運動〕①～②、 29. 船舶海洋工学（構造）〔船体強度・振動、船舶設計・艤装〕①～② <p>（注1）13（材料力学〔機械系〕）と18（構造力学（土木））の同時選択不可。 15（流体力学〔機械系〕）と20（水理学）の同時選択不可。 21（土木計画）と22（環境工学（土木）・衛生工学）の同時選択不可。 （注2）1（建築設計）及び2（都市設計）は、「一般的な建築物及び都市・地区の設計を課題とし、マスタープラン（図面及び論述）の作成により、設計する能力及び企画する能力を問う問題」。 他の選択科目は、「科目内容に応じて必要な専門的知識、技術などの能力を論述、計算等を通じて問う問題」。</p>
数理学・物理・地球科学	<p>115題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 基礎数学・情報数学</p> <p>II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 数理学系 線形代数、解析、確率・統計 選択B 物理・地球科学系 基礎物理、地球科学</p> <p>III部 25題 次の17科目90題のうち任意の計25題解答 集合・位相、代数、幾何、解析、確率・統計、情報理論、計算機数学、離散数学、数値計算、数学モデル、オペレーションズ・リサーチ、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）、物理数学、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）、地球物理学、地質学</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から15題出題、任意の2題選択 代数、幾何、解析、確率・統計⑤、情報科学①、数学モデル①、経営工学（経営数学・生産管理・品質管理）①、古典物理学、現代物理学（物性物理学を含む。）③、地球物理学②、地質学②</p> <p>（注）同じ科目から2題選択可。</p>
化学・生物・薬学	<p>106題出題 40題解答</p> <p>必須問題 基礎数学、基礎物理、基礎化学、基礎生物学の計10題</p> <p>選択問題 次の16科目（各6題）から5科目又は6科目を選択し、その30～36題のうちから任意の計30題解答</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 数学・物理、 2. 基礎物理化学・基礎無機化学、 3. 物理化学・無機化学、 4. 有機化学、 5. 工業化学・化学工学、 6. 分析化学・薬化学、 7. 薬理学、 8. 薬剤学・衛生化学、 9. 食品学、 10. 土壤肥科学・環境科学・農薬、 11. 生化学・分子生物学、 12. 応用微生物学・生物工学、 13. 発生生物学・生理学、 14. 細胞生物学（形態学を含む。）・放射線生物学、 15. 遺伝学・進化学、 16. 生態学（動物行動学を含む。）・系統分類学 	<p>選択問題 2題</p> <p>次の科目から19題出題、任意の2題選択 物理化学②、無機化学①、有機化学①、分析化学①、化学工学①、薬化学①、薬理学①、薬剤学①、食品学①、土壤肥科学・農薬①、生化学①、分子生物学・生物工学①、応用微生物学①、発生生物学①、生理学①、細胞生物学（形態学を含む。）①、遺伝学①、生態学（動物行動学を含む。）①</p> <p>（注）同じ科目から2題選択可。</p>

試験の区分	専門試験（多肢選択式）	専門試験（記述式）
農業科学・水産	<p>140題出題 40題解答</p> <p>I部 5題 生物資源に関する基礎 [生物資源科学、食料事情、統計学]</p> <p>II部 10題 次の選択A、B（各10題）から一つを選択 選択A 農業科学系 農業科学に関する基礎 [農業・畜産業、生物学に関する基礎] 選択B 水産系 水産学に関する基礎</p> <p>III部 25題 次の23科目（各5題）から5科目を選択し、計25題解答 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、5. 昆虫学、 6. 土壌肥科学・植物生理学、7. 経済学、8. 農業資源経済学（基礎）、 9. 農業資源経済学（応用）、10. 農業経営学、 11. 食料政策・農業政策・農業関係法律、 12. 家畜育種学、13. 家畜繁殖学、14. 家畜生理学、 15. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 16. 畜産一般 [畜産物生産・畜産物加工・畜産物流通]、 17. 水産経済学・水産経営学、18. 漁政、19. 漁業学・水産資源学、 20. 水産海洋学・水産環境保全、21. 水産生物学・増養殖学、 22. 水産化学・水産利用学、 23. 水産一般 [水産物生産・水産物加工・水産物流通]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の20科目（各1題）から2科目選択 1. 作物学、2. 園芸学、3. 育種遺伝学、4. 植物病理学、 5. 昆虫学、6. 農業資源経済学、7. 農業経営学、 8. 食料政策・農業政策、9. 家畜育種学、 10. 家畜繁殖学、11. 家畜生理学、 12. 家畜飼養学・家畜栄養学・飼料学・家畜管理学、 13. 漁業学、14. 水産資源学、15. 水産海洋学、 16. 水産環境保全、17. 水産生物学、18. 増養殖学、 19. 水産化学、20. 水産利用学</p>
農業農村工学	<p>76題出題 40題解答</p> <p>必須問題 農業農村工学に関する基礎 [農業・農村一般③、農業生産・環境一般②、 数学・情報処理③、農業農村工学一般⑥、応用力学④、水理学④] の計22題</p> <p>選択問題 次の9科目（各6題）から3科目を選択し、計18題解答 1. 設計・施工、2. 農業水理学、3. 土地改良、4. 農村計画学・公共経済学、 5. 農村環境整備、6. 機械基礎工学 [機械力学及び機械要素・設計]、 7. 生物生産機械工学、8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学 [農業気象学及び生物工学を含む。]</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の9科目（各1題）から2科目選択 1. 設計・施工、2. 農業水理学、3. 土地改良、 4. 農村計画学、5. 農村環境整備、6. 公共経済学、 7. 生物生産機械工学、 8. 食料機械工学・生物生産施設工学、 9. 環境調節工学 [農業気象学及び生物工学を含む。]</p>
森林・自然環境	<p>121題出題 40題解答</p> <p>必須問題 森林・自然環境に関する基礎 [森林・自然環境に関する基礎科学④、森林・ 自然環境の現状と基本政策⑤、森林・自然環境の機能・効用に関する基礎④] の計13題</p> <p>選択問題 次の12科目（各9題）から3科目を選択し、計27題解答 1. 森林環境科学（森林政策及び林業動向を含む。）、 2. 森林資源科学（森林立地及び森林保護を含む。）、 3. 森林生物生産科学（森林経営・育林技術・森林工学）、 4. 砂防学基礎、5. 砂防工学、6. 流域管理、7. 造園学原論・造園材料、 8. 造園計画（自然公園） [自然環境保全を含む。]、 9. 造園計画（都市公園） [都市計画を含む。]、 10. 木材特性・木質構造 [木材需給を含む。]、11. 木材加工・材質改良、 12. 木材成分利用（特用林産物を含む。)</p>	<p>選択問題 2題</p> <p>次の4科目（各3題）から1科目を選択し、任意の2題解答 1. 森林科学に関する基礎、 2. 国土保全に関する基礎、 3. 自然環境・公園緑地に関する基礎、 4. 木材等林産物に関する基礎</p>

【参考】製図道具の使用について

「工学」区分の第2次試験の専門試験（記述式）で建築設計又は都市設計を選択する予定である受験者は、製図道具を使用しなくても受験できますが、下記の製図道具を使用することもできます。その場合は各自持参してください。

直定規（30cm程度）1本、直角三角定規（45° - 45° - 90°）1枚、赤及び青鉛筆



直定規(例)



直角三角定規(例)

(注) 次の製図道具は使用できません。

製図板、T定規、勾配定規、雲形定規、三角スケール、分度器、コンパス、消し板、円・だ円・正三角形・正方形及び文字図形用の型板(テンプレート)、電動消しゴム、卓上計算機、その他使用できる製図道具以外のもの



T定規(例)



勾配定規(例)



テンプレート(例)

別紙 英語試験について

1 対象となる試験区分

総合職試験（院卒者試験・大卒程度試験）の全ての試験区分

2 活用する英語試験

（注）試験実施年度の4月1日から遡って5年前の日以後（平成29年度試験については、平成24年4月1日以後）に受験したものに限ります。

- ① Educational Testing Service の TOEFL iBT テスト
- ② Educational Testing Service の TOEIC Listening & Reading Test（平成28年8月5日に名称が変更される前の TOEIC テストを含み、公開テストに限る。以下同様 ※）
※ 団体特別受験制度（Institutional Program）（通称：IP テスト）は、加算の対象としていません。
- ③ ブリティッシュ・カウンシル、IDP：IELTS オーストラリア及びケンブリッジ大学英語検定機構の IELTS のアカデミック・モジュール又はジェネラル・トレーニング・モジュール
- ④ 公益財団法人日本英語検定協会の実用英語技能検定

3 必要な書類

英語試験による加算を求める場合には、以下の書類（原本）とその写し（コピー）を第2次試験（人物試験）の際に持参し、必要事項を記入した英語試験申請書（総合職）を添えて、提出してください。コピーは、A4縦の用紙に、上端を合わせて、等倍で行ってください。また、コピーの下の空白部分に、「試験名（院卒者試験又は大卒程度試験）」、「試験の区分」、「第1次試験地」及び「受験番号」を記入してください。

原本は確認後、返却し、コピーは係官が回収します。

（注1） 証明書類等の詳細については、<http://www.jinji.go.jp/saiyo/siken/eigosiken.pdf> に掲載しています。

（注2） 第2次試験（人物試験）の際に必要な書類を提出できなかった場合は、英語試験による加算はできません。また、加算を求めることができる英語試験のスコア等は1つに限ります。

（注3） 提出されたスコア等を英語試験を実施する団体に確認する場合があります（国家公務員法上、虚偽又は不正の報告等を行った者は、三年以下の懲役又は百万円以下の罰金に処せられることがあります。）。

英語試験申請書（総合職）は、第1次試験合格発表後、国家公務員試験採用情報NAVIに掲載しますので、印刷し、必要事項を記入した上で持参してください。詳細は第1次試験実施の際にお配りする受験心得を御覧ください。

① TOEFL iBT テスト

Examinee Score Report 又は Test Taker Score Report

（注） Educational Testing Service から直接郵送された証明書を原本として認めています。個人のアカウントページ（マイホームページ）よりダウンロードしたもの（PDF形式）については、原本として認められません。

② TOEIC Listening & Reading Test

Official Score Certificate 又は Official Score Report

（注） 証明書類に顔写真が記載されていない場合には、顔写真及び生年月日の記載がある身分証明書も必要です。

③ IELTS のアカデミック・モジュール又はジェネラル・トレーニング・モジュール

Test Report Form

④ 実用英語技能検定

合格証明書、PROOF OF EIKEN CERTIFICATION 又は Certificate、及び身分証明書等（顔写真及び生年月日の記載がある身分証明書又は英検の本人確認票）

4 加算点

15点加算：TOEFL(iBT) 65以上80未満、TOEIC Listening & Reading Test 600以上730未満、IELTS 5.5以上6.5未満

25点加算：TOEFL(iBT) 80以上、TOEIC Listening & Reading Test 730以上、IELTS 6.5以上、英検 1級又は準1級

英語試験に関する詳細は、国家公務員試験採用情報NAV Iを御覧ください。

また、英語試験に関する問合せは、以下の問合せ先へ御連絡ください。

人事院人材局試験課（9:30～17:00（土・日曜日及び祝日等の休日は除く。））

電話（03）3581-5311（内線2935）